

CCICで心臓手術を ライブデモンストレーション

Complex lesionを中心としたカテーテルインターベンションのライブデモンストレーション・シンポジウム・レクチャー等を行っているCCIC (Complex Coronary Intervention Conference)。豊橋市の循環器系専門病院「豊橋ハートセンター」の鈴木孝彦院長が、同事務局の代表世話人を務めている。

今年で第6回を迎えるこのカンファレンスが、「冠動脈疾患治療の21世紀に向けた展望と現在の最適な治療の追及」をテーマに10月4日～6日の会期で、愛知県豊橋市にて開催された。

循環器内科のライブデモンストレーションでは、豊橋ハートセンター心臓カテーテル室、名古屋第二赤十字病院の心臓カテーテル室と会場をマイクロ回線、衛星回線でそれぞれ結び、鈴木孝彦先生（豊橋ハートセンター）、平山治雄先生（名古屋第二赤十字病院）らが、コンプレックス病変を中心に約40例の症例に対し、インターベンションを行った。

心臓手術のライブデモンストレーションでは、米田正始先生（京都大学）、南淵明宏先生（大和成和病院）、大川育秀先生（豊橋ハートセンター）の3人が、10月4日・5日の両日にわたり拍動下バイパス術、MIDCABの心臓外科手術を豊橋ハートセンターで行った。豊橋ハートセンターとホテル日航豊橋がマイクロ回線で結ばれ、ホテルに設置された2つの大型モニターに手術風景が映し出され、5日には、医師や医療機器メーカーの関係者ら約2000人が参加した。

【お問い合わせ先】

医療法人澄心会豊橋ハートセンター
〒441-8530

豊橋市大山町字五分取21-1

TEL：0532-37-3377

